# 第五次滋賀県環境学習推進計画(答申案)について

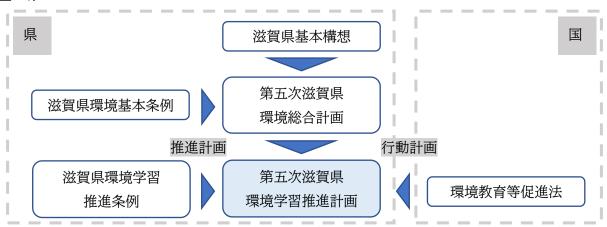
環境政策課

#### 1 概要

県では、滋賀県環境学習の推進に関する条例(平成16年3月29日滋賀県条例第28号)に基づき、環境学習の体系的、総合的および効果的な推進を図るため、滋賀県環境学習推進計画を策定している。

第四次滋賀県環境学習推進計画(以下「現行計画」という。)の計画期間が令和7年度末で終了することから、現行計画の策定後の環境を取り巻く社会情勢の変化や環境学習の状況をふまえ、令和8年3月に第五次滋賀県環境学習推進計画(以下「第五次計画」という。)を策定する。

### 2 位置づけ



#### 3 現行計画の状況について

- 「地域を愛し、自ら行動できる人育てによる、『いのち』がつながる持続可能な社会づくり」 という基本目標のもと、持続可能な社会づくりに向けた環境学習を推進。
- 人材育成や環境学習の場や機会づくり、普及啓発のための事業などに全庁的に取り組み、県民 の環境保全行動実施率は過去5年間、8割前後の高い数値で推移。
- しかし、<u>実施率を年代や地域別でみるとばらつきがある</u>ことや、環境学習に関わる各主体への ヒアリングから、環境学習の現場では依然として課題が残っていることが判明。

# 課題を整理

- (1) 原体験として身近な環境に触れる機会の確保
- (2) 環境学習の担い手の育成 (3) 環境学習に関する情報の発信
- (4) 学校現場等への支援
- (5) 環境学習を通じた人々が幸せに暮らす社会の実現

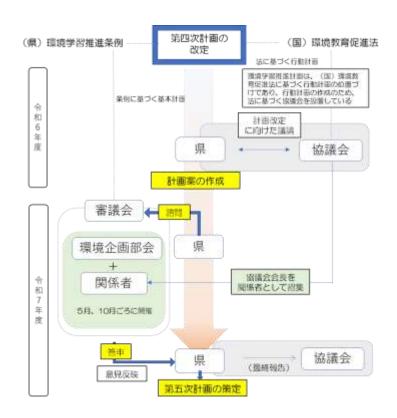
### 4 これまでの検討状況

#### 令和6年度

・滋賀県環境学習等推進協議会に て、3回(8/28,11/20,3/25)の議論 を経て、素案を策定。

## 令和7年度

・第1回環境審議会環境企画部会 (5/12) にて、素案について議論。 ※この間、議会などでも様々な意見 を頂戴した。



#### 5 第1回環境審議会環境企画部会以降の主な更新内容

- (1) ウェルビーイングの理解を助けるため、WHO 憲章での定義などの補足説明を追記(P.1)。
- (2) 「10 代後半~20 代前半の若者は、新たなコミュニティなどとのつながりを持ち、環境に配慮した個人の生き方を選択したり、経済活動の一翼を担うようになる重要な世代である」というご意見を踏まえ、その考えを計画内に落とし込む(P.10)。
- (3) 県民(個人・家庭)が取り組む活動例として、ビワマスの保全再生のために野洲市の家棟川などで取り組まれている「小さな自然再生」の取組を紹介(P.11)。
- (4) 行動変容をみる指標として、「1人1日当たりのごみの排出量」なども参考とすることを追記 (P.23)。
- (5) 本文では満遍なく記載ができているものの、概要版では琵琶湖に関する記載が目立ち、山などでの取組が見えづらいとの意見をいただいた。また、「石けん運動」と環境学習のつながりを大切にすべきとの意見もいただいたため、構成を大きく修正(概要版)。

## 6 今後の策定スケジュール

令和7年10月 常任委員会 報告

11月 県民政策コメント 実施

令和8年2月 滋賀県環境学習等推進協議会、滋賀県環境審議会環境企画部会に最終報告

3月 常任委員会 報告

第五次滋賀県環境学習推進計画 策定